

# 校長室だより

令和8年3月13日(金)  
第45号  
十日町市立中条中学校校長室

3月10日(火)から12日(木)の2泊3日で、2年生が関西方面の修学旅行に行ってきました。2年生にとっては一大行事の一つです。

今回も私が同行させていただきました。この旅行のスローガンです。

## 友情無限

～協力・助け合い・学び合い～

スローガンに込められた思いがどうであったかを評価しながら、まとめてみます。



### 全体を通して

火曜日の早朝出発でした。保護者の皆さま、朝早くからの対応ありがとうございました。また、最終日のお迎えも遅い時間にも関わらずありがとうございました。

行程としては順調な修学旅行でした。気温は若干低めでしたが、晴天であったことは、とてもよかったことです。若干の体調不良やトラブルはありましたが、全員無事に帰ってきました。実行委員を中心に自治的、自主的な活動が随所に見られました。時間どおりに行動できたことも大きな成果です。ここにも「協力・助け合い」が生きていたようです。一部の生徒は他の生徒に聞き行程を進めたり、次のすべきことを確認していたりする場面がありました。分からないことを聞く力も大切な要素です。それが教員でなく、お互いに補っていたことがとてもよかったと思います。

### なんばグランド花月での公演を含めた大阪

なんばグランド花月での公演は、14:30開演で、17:15終了と少し時間が伸びましたが、あつという間の時間でした。よくテレビで見かける芸人さん、私たち大人にとっても懐かしい方を生で見ることができました。特に西川きよし師匠の話の中に、中条中学校の紹介をしていただきました。団体で入った方々を紹介してくれるとのことでした。生徒向けの話も交えてくれました。ところどころ中学生には少し難しい内容もあったようでした。それも貴重な勉強の機会かなと思いました。プログラムは右のような内容でした。

公演の後、集合場所となるグリコサインまで移動し、串カツコースとお好み焼きコースに分かれて食事をしました。その後わずかな時間でしたが、道頓堀を散策や買い物もし、都会、関西を感じました。

3月10日(火)	
本公演2回目 14:30開演	
14:30	ハイヒール
14:35	パッチリイズ
14:40	ティーアップ
14:50	西川のりお・土方よしお
15:00	西川きよし
15:15	NON STYLE
15:25	ジャルジャル
15:35	パンクブーブー
15:45	桂文彦
16:00	休憩
16:10	【吉本新喜劇】
16:55	すっちゃん

### タクシー会社の朝礼体験と班別自主研修

2日目の班別自主研修はタクシーを使用しました。京都のタクシーの運転手さんは京都のことを詳しく知っていて、ガイドもしてくれます。今回お世話になったタクシー会社は京都市内でも最大手の会社です。今回はホテルでなく、京都駅前での出発式でした。出発式の冒頭にタクシー会社の朝礼を見学させていただきました。社歌合唱に始まり、挨拶の練習を見せてもらいました。生徒にとっても刺激的だったと思います。大人になってもこうやって毎日のように練習を重ね、お客様のことを気遣っていることに直接触れるとても貴重な経験でした。



班別自主研修では、学校で事前に立てた計画から変更した班がいくつかありました。班員の中で相談したり、混雑状況を見ながら、タクシーの運転手さんからのアドバイスを参考にしたりしながらの対応だったようです。班ごとの実際の研修の様子は今後のレポートのお楽しみです。充実した研修になったようです。これこそ「学び合い」です。宿舎に帰ってきた時はやりきったという表情が伝わってきたように感じました。

## 心に響いた薬師寺の説法

最終日、奈良の薬師寺を最初に訪れました。そこで30分ほど、お坊さんからの説法を聞きました。笑いを交えて、薬師寺の説明をしてもらいました。話を聞いているうちにどんどん引き込まれていきます。生徒との掛け合いがとてもよかったです。素晴らしい授業を受けたという感じです。最後に生徒にかけた言葉の一部を紹介します。

薬師寺に祀られている「薬師如来」、仏様はたくさんいるが得手不得手がある。薬師如来は薬の師匠、先生。薬に詳しい。その両脇にいるのが看護師さん。ここにも役割がある。日光菩薩は昼の役割、月光菩薩は夜の役割。病気はいつなるかわからないから、いつでも守りますと祀られている。健康でいられるようにたくさんの方がお参りする。



健康がどれだけ大切か。みんな経験したはずやねん。コロナ。「世界中で一つの病気が流行りました」とまとめられる。でも、それだけのことで、学校行くな、集まるな、みんなで給食を食べるのはアウトでした。制限がかかった。そんなことばかりだったでしょう。やりたいことをやれるのは当たり前のことなのにできなかったでしょう。皆さん中学生だから、これからやりたいことたくさんあるでしょう。それを支えてくれるのは何かと言えば、健康、元気であることです。ちょっとしたことでやりたいことさえできなくなってくる。それが普通の世の中なんです。せっかくだからやりたいことやれるように、健康でいられるように、自分の健康、家族の健康、大切な人の健康、それが続くようにこのお寺の仏さんの前で祈ってほしいと思います。

君たちはやればできる。その力を生かしてください。この旅行でしっかり楽しんで帰ってほしい。楽しむために大切なことを覚えて帰ってほしい。人間は分かりやすい。しんどいな、どうでもいいやと思ってしまうと姿勢が変わってくる。嫌なものから目をそらせる。近づきたくなくなる。嫌だと思うとうつむくんだよね。そういう状態を漢字で書いたらどうなるか。面がうつむいて倒れてしまうから、これを「面倒」という。実際楽しくないよね。下向いていて楽しい？奈良の地面ずっと見ていて楽しい？そんな人いないよね。どこに行っても地面は変わらん。だから面白くない。変わるから、違うから面白いんだよ。修学旅行の夜は楽しいよね。違うから楽しい。家で一人騒いで楽しい？違うから面白い。顔上げてみて。うつむいていると見つけられない。顔を上げて探してみよう。顔を上げると光が当たる。光が当たると顔が白く見える。こういう状態、「顔が白い」と書いて「面白い」となるんだ。楽しい、面白いタネはあちこちにあると思うけど、私たちはつい言ってしまふ。「寺なんかどこでも一緒」「なんでこんなことをしなければならないのか」と探すことをせずに、「面倒だな」とか「つまらん」と決めつけてしまう。どこかに何かないかなと探した方が、時間はなんとなく有効に使えているという気がしませんか。それをするのは誰でもない自分です。「つまらん」と決めつけるか、探してみるか。せっかくだから探してみよう。しっかり楽しい時間をしっかり作ってください。

## 今回の旅行も多くのプロに出会いました。

今回の旅行の計画段階から当日の添乗までをしていただいた添乗員さん、大変お世話になりました。安全でかつ生徒の思い出に残る旅行にしてもらえたのは、添乗員さんのおかげです。様々な面においてプロ対応であったと思います。

その他、多くのプロに出会いました。ホテルの方、バスやタクシーの運転手、各見学場所のスタッフ、なんば花月の芸人さんたち。将来、生徒がどのような道に進むのかは分かりませんが、修学旅行は、普通の学校を離れた場所で、見学し、違う環境を学んでくるだけでなく、人としての在り方を学ぶ機会です。社会は多くの人に支えられている。そして将来自分を生かして社会に貢献する。そんなことを生徒が考える機会になっていけばそれが一番の成果です。